（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	2024 年 4 月 23 日（火曜日） 11 時 10 分頃							天候	曇り	
災害の程度	死亡　　名		負傷　1　名		職種　基礎工		年令 65 才		経験年数 11年　ヶ月	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況	［件　　名］ 仮設鉄板の配置換えに伴う鉄板清掃時，鉄板が玉掛用吊フックから外れ，被災者の両足に激突し受傷した ［作業内容］ 基礎作業 ［発生状況］ バックホウで敷き鉄板の配置換え作業中，鉄板を起こした時に玉掛用吊フックが外れ，鉄板を清掃しようと接近した被災者側へ鉄板が倒れ込み，被災者の両足に激突し受傷 ［被災程度］ 重傷（右下腿開放骨折，右足間接果部骨折，右下腿皮膚欠損創） ［服装・装備］ 作業服上下，安全帽，長靴，カッパ，ゴム手袋
原因及び対策	［発生原因］ ・鉄板吊フックの閉鎖ロック装置が破損しており，バックホウで鉄板を起こした際に吊チェーンが緩み（推定），吊フックから鉄板が外れた。 ・被災者は鉄板を起こした状態で清掃しようと近づいたため，吊フックから外れて倒れてきた鉄板を避けきれなかった。 ［再発防止対策］ 「元請会社」 ・職員は，現場で班長から点検結果を確認するとともに，日々の現場管理の中で，持ち込まれた機械工具類の状態を確認する。 ・会社は，重機をクレーンとして使用する場合はクレーン作業計画書を作成することを本工事関係者および元請社内へ周知する。（5/10労基署へ報告済） ・職員は，クレーン作業計画書を基に作業方法を確認し，作業班に対して必要な指導や追加の安全対策を指示する。 ・職員は，再発防止対策ができているか，適宜確認する。また，日々の反省会の中で，決められたルールが守られたか確認を行い，翌日の作業改善を図っていく。 ・会社は，死角の多いバックホウ使用時に「重機見張り員（専門警備会社：第三者）」を配置して，不用意な危険個所への立入り時は呼子等で注意のほか，合図の実施状況を第三者の目でも確認する取組みを試行的に実施する。 「協力会社」 ・会社は，ＴＢＭ後に全員で使用工具の点検を行い，班長は点検結果を確認する。（当該吊具は点検表により点検を行う） ・玉掛け者は，鉄板吊具の使用前に閉鎖ロックの動作を確認するとともに，鉄板へ吊フックを掛けた後の状態を再確認する。 ・会社は，重機や移動式クレーンを用いての関係作業者との協働作業は，班長は合図者を指名し、オペレータは合図者の指示で操作する。 ・会社は，オペレータと合図者との合図・誘導には手合図のほか，無線機・インカム等を用いて，双方の意思を明確にする。また，作業員が吊荷に近づく際は，オペレータは操作レバーのロックを行い，合図者はオペレータの操作完了，吊荷の安定と玉掛けの状態を確認した後に合図者から作業員へ指示する。

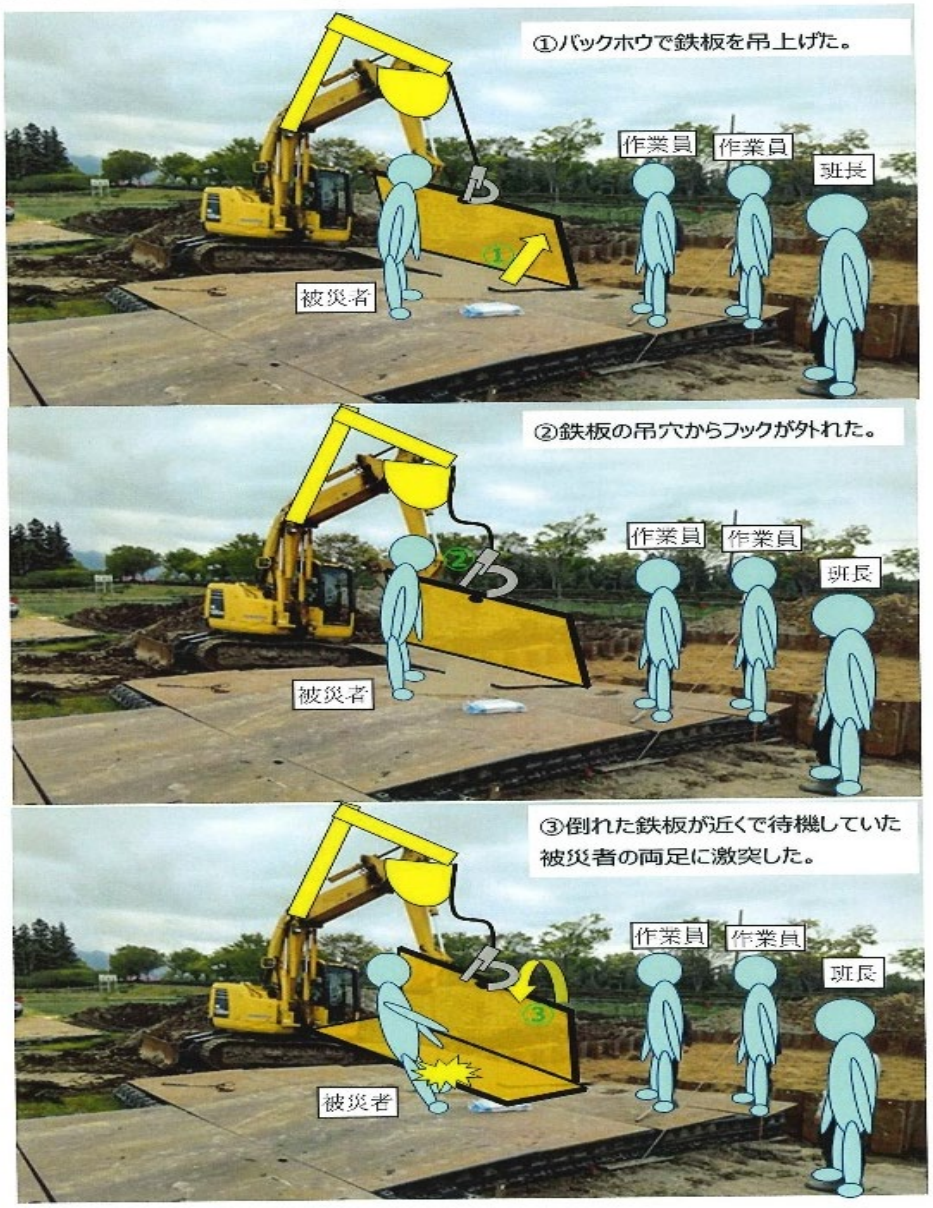
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

発生状況

位　置　図

状　況　図